◆10月23日(日)［ちびっこ妙見祭］
11:00 本町アーケード周辺

◆お下り［御夜］
平成28年**11月22日(火)**
17:30 本町アーケード周辺

◆お上り［神幸行列］
11月23日(祝)
7:30 塩屋八幡宮出発
8:30 やつしろハーモニーホール
9:00 八代駅前(演舞)～11:30
12:30 砥崎河原(演舞)～16:30

※JR・肥薩おれんじ鉄道等の公共交通機関のご利用が便利です。
※危険防止のため会場及び行列周辺でのドローンの使用はお止め下さい。

〈お問い合わせ〉
八代妙見祭保存振興会 TEL.070-5819-8246
妙見祭情報はホームページをご覧ください。
http://www.myouken.com/ 簡単アクセス

八代妙見祭ユネスコ登録 吉村作治特別講演会

入場無料

「日本の祭りとその起源」

～日本の祭りの起源は古代エジプトにあった！～

日時 **12月17日(土)** 14:00→16:00

会場 八代市厚生会館ホール
八代市西松江城町1-47 TEL.0965-32-3196

講師 東日本国際大学学長
早稲田大学名誉教授
吉村 作治先生

約1カ月間、いつでも笠鉾に会える!!

笠鉾 特別展示

観覧無料

11/13(日)▶12/10(土) 10:00～18:00

場所 がらっぱ広場(本町アーケード内)

9基の笠鉾を3回に分けて展示します。期間中、やつしろ観光ガイド協会が八代妙見祭と笠鉾について随時ご説明します(申込不要)。

11/13(日)・20(日)は組立、12/11(日)は解体の見学ができます。
組立場所・時間については、お問い合わせください。

笠鉾を見て聞いて知って 妙見祭がもっと楽しくなる!!

笠鉾組立見学ツアー

11月20日(日) 9:00～12:00

集合時間 8:45～受付
集合場所 八代市役所南側駐車場(市役所バス停裏側)
見学場所 各笠鉾組立会場
申込締切 11/18(金)

※歩きやすい服装でご参加ください。※雨天時は中止します。

参加費無料

上記3件に関するお問い合わせ・申し込みは 八代市文化振興課 TEL.0965-33-4533

お下り・御夜

11/22(火)
会場:本町アーケード周辺

お下り
14:00～ お下り出発(八代神社)
16:30頃 お下り通過(本町アーケード)
17:00頃 御旅所着(塩屋八幡宮)

御夜 17:30～20:30
●笠鉾・亀蛇・獅子等の展示 ●獅子打ち込み ●八代妙見紅道中披露
●ふるさと再発見!伝統芸能フェスティバル
砥原子ども会おざや名所(鏡町)・芝口大鞘節(鏡町)・八代新地大鞘節(千丁町)・銭太鼓(千丁町)
●がめさんダンス ●子供能 ●武者んよかコンテスト ●妙見楼(フードコート)など

八代妙見祭について▶ 詳しくは、ホームページをご覧ください。
http://www.myouken.com/

1 獅子 2 花奴 3 木馬 4 鉄砲 5 毛槍 6 白和幣 7 籠 8 笠鉾菊慈童 9 神馬 10 神馬奉行 11 甲冑武者 12 大麻 13 大太鼓 14 神官 15 阿須波神 16 火王水王風王 17 奏楽大太鼓 18 奏楽 19 四神旗 20 紙幣 21 弓矢 22 対の槍 23 御太刀 24 神輿 25 長刀 26 紫翳 27 菅翳 28 立傘 29 斎主 30 笠鉾本蝶蕪 31 笠鉾蘇鉄 32 笠鉾西王母 33 笠鉾猩々 34 笠鉾蜜柑 35 笠鉾恵比須 36 笠鉾松 37 笠鉾迦陵頻伽 38 流鏑馬 39 亀蛇（ガメ） 40 飾馬（花馬）

国指定重要無形民俗文化財『八代妙見祭の神幸行事』

神幸行列・お上り 見どころマップ

11月23日(祝)

九州南部を代表する祭礼行事として380年も続く「八代妙見祭」。獅子を先頭に、妙見神が海を渡る際に乗ってきたとされる亀蛇、楼閣型の豪華絢爛な笠鉾など、40の出し物が1kmにもおよぶ行列をなし、晩秋の八代を彩ります。

●臨時駐車場からシャトルバスを運行します。
8:00～18:00 片道100円
※雨天などの事情で、一部のお上り行列が中止となる場合、本町アーケード街で笠鉾等を展示し、近くに臨時バス停を設置します。

観客席へ迫る亀蛇のダイナミズムを体感

「ガメ」の愛称で親しまれている「亀蛇」は、亀と蛇が合体した想像上の動物です。その昔、妙見神がはるか中国からこの亀蛇に乗って海を渡ってきたという伝説にちなんだものと考えられます。

大きさは、全長3m、幅は2.5m、重さは100kg以上もあります。亀蛇の中には、「ナカ」と呼ばれる担ぎ手が5人1組で入り、そのうち1人が首を操ります。尻尾の赤い毛は、麻糸を染めたもので、持っているとご利益があるといわれています。

亀蛇

妙見祭の歴史

《八代神社（妙見宮）の由緒》

江戸時代はじめ、八代城は現在の位置に築かれ、城の周辺に形成された城下町「八代町」は、長崎や上方への積出港として賑わいました。町の中を薩摩街道が通り、参勤交代の島津氏や幕府の役人が宿泊する「御客屋」（いわゆる本陣）や高札場（お触れを掲示する場所）などもありました。

町人文化が花開いた元禄の頃（17世紀の終わり頃）、八代町から笠鉾や獅子、亀蛇など趣向を凝らし、贅を尽くした出し物が奉納されるようになり、行列は次第に豪華になっていきました。

熊本藩主細川氏や細川氏の家老で八代城主の松井氏は、地域の結束を高めるため、祭礼を盛り立てることに心を配りました。19世紀初めの頃、松井家のお抱え絵師が描いた祭礼絵巻によって、さまざまな階層の人々が一体となって参加する盛大なお祭りの様子を知ることができます。現在、「ふるさと創生事業」などにより出し物の復元や修復等が行われ、往時の豪華な行列が再現されています。

長年にわたる貴重な伝統文化の保存と継承が評価され、八代妙見祭は、平成23年3月9日付で国重要無形民俗文化財に指定されました。

獅子

交通アクセス

JR利用

新八代駅着、八代駅まで鹿児島本線（約3分）

- 新大阪駅より（山陽・九州新幹線） 最速3時間20分
- 博多駅より（九州新幹線）……最速49分
- 熊本駅より（九州新幹線）……最速12分
- 長崎駅より（長崎本線・九州新幹線） 約2時間01分
- 大分駅より（久大本線・九州新幹線） 約2時間53分
- 鹿児島中央駅より（九州新幹線）……最速43分

※熊本地震の影響により、一部区間で徐行運転を行う場合があります。

航空機利用

- 阿蘇くまもと空港より（空港バス利用）……約60分

車利用

- 福岡ICより（九州自動車道）……約2時間
- 長崎ICより（長崎自動車道・九州自動車道） 約2時間30分
- 佐賀ICより（長崎自動車道・九州自動車道） 約1時間30分
- 大分ICより（大分自動車道・九州自動車道） 約2時間50分
- 宮崎ICより（宮崎自動車道・九州自動車道） 約2時間5分
- 鹿児島ICより（九州自動車道）……約1時間45分

交通に関するお問い合せ

JR九州（新八代駅）	TEL.0965-31-8005
JR九州（八代駅）	TEL.0965-32-4472
肥薩おれんじ鉄道（八代駅）	TEL.0965-32-5678
産交バス（八代営業所）	TEL.0965-32-5145
神園交通（空港バス）	TEL.0965-32-2121

砥崎河原から実況生中継！

11/23(祝) 12:15～ON AIR

◆かっぱFM 76.5MHz
「エフエムやつしろ 特別番組 実況八代妙見祭2016」
※インターネットサイマルラジオでも配信します。
http://www.jcbasimul.com/?radio=kappafm

◆インターネットライブ中継
http://www.myouken.com/
砥崎河原へ来場できない方、ぜひご覧ください。

八代妙見祭フォトコンテスト
あなたの撮った『妙見祭の名場面』大募集！

応募締切 平成28年12月2日（金）（当日消印有効）
賞 グランプリ1名（賞金10万円・賞状）、ほか賞あり
提出先 〒866-0844 熊本県八代市旭中央通3-11 TSビル3階
八代妙見祭保存振興会事務取次（八代市文化振興課）
『八代妙見祭フォトコンテスト』係 TEL.070-5819-8246
詳しくは、ホームページをご覧ください。http://www.myouken.com/